

平成17年度

標準化活動報告書

抜粋版

抜粋版

平成18年4月

(社) ビジネス機械・情報システム産業協会

標準化センター

■目次

| | |
|---------------------|----|
| 1. 標準化センター | 1 |
| 1.1 はじめに | 1 |
| 1.2 標準化センター関係委員一覧 | 3 |
| 1.3 標準化センター幹事会 | 8 |
| 1.4 JBMS 推進小委員会 | 8 |
| 1.5 UI デザインプロジェクト | 9 |
| 1.6 アクセシビリティプロジェクト | 11 |
| 1.7 カラーマネジメントプロジェクト | 11 |
| 1.8 JIS 原案作成委員会 | 14 |
| 2. 部会及び委員会の標準化活動 | 15 |
| 2.1 複写機・複合機部会 | 15 |
| 2.2 ページプリンタ部会 | 18 |
| 2.3 カード及びカードシステム部会 | 19 |
| 2.4 データプロジェクター部会 | 19 |
| 2.5 デジタル印刷機部会 | 19 |
| 2.6 コミュニケーションボード部会 | 19 |
| 2.7 環境委員会 | 20 |

1. 標準化センター

1.1 はじめに

(社) ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA) 標準化センターとして、5回目の活動報告書をここに発行する。

昨年度に引続き今年度も積極的に標準化活動を展開し、標準化センターの各プロジェクト・小委員会及び部会などで、次の標準化センターの事例で示すような着実な成果を上げた。

- (1) 平成17年度 J I S 原案作成について、以下のとおり実施した。
 - ・「再使用部品を含む事務機器の品質及び性能」 J I S 原案を作成し、日本規格協会に提出した。
 - ・「複写機一図記号」、「生体測定を用いた個人照合」、「カラー電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印字可能枚数測定方法」、インクジェットプリンタ及びプリンタ複合機のカラーインクカートリッジ印字可能枚数測定方法」、「事務機械消耗品の印字可能枚数測定カラーテストページ」の J I S 化については、J I S 委員会を設置し、原案作成作業を実施中である。
- (2) J BMS の維持・管理及び運営に関する基盤整備を図った。
 - ・「J I S Z 8301 規格票の様式及び作成方法」の大幅改正に伴い、「J BMS-27 ビジネス機械・情報システム産業協会規格の作成基準」の改正を行った。各委員会・部会から提案された原案のエディット実施し下記6点を発行した。
 - ・「J BMS-75 電子黒板用語」の制定
 - ・「J BMS-69 デジタル印刷機の性能試験方法」の改正
 - ・「J BMS-74-1 情報技術装置の空気伝搬騒音の測定 Part 1 : プリンタ : 複写機及び複合機の騒音測定用カラーパターン」制定
 - ・「J BMS-76 プリンタ工程管理 パラメータ及びその測定方法」の制定
 - ・「J BMS-77 カラーインクジェットプリンタ及びその複合機のフォト画像用インクカートリッジ寿命測定方法」の制定
 - ・「J BMS-78 カラーインクジェットプリンタ用カートリッジ寿命測定のためのフォト標準テストページセット」の制定
- (3) アクセシビリティ規格に関し、JIS X 8341-5 「高齢者・障害者等配慮設計指針第5部事務機器」の原案作成し平成18年1月制定された。当該 J I S について、適合評価、認証の課題について調査を行うと共にアクセシビリティ P J W G は、産学共同研究により障害のある方や高齢の被験者を対象に製品の液晶ディスプレイの見やすさを検証し「見やすさ指標」の中間報告を提供した。
- (4) ユーザーインターフェースの標準化に関する主な活動としては以下。

- ・ 英字、日本語ソフトキーボード配列・文字の入力方法などのガイドライン案を作成した。
- ・ 機器の動作状態を示す各種インジケータの色、点滅などのガイドライン化に向けた調査・検討を行った。
- ・ 送信系用語の日本語/英語について各社の現状調査を実施し、21 の用語について原案を作成した。「メール送信」「アドレス長」「読み取りサイズ」関係の3用語についてはユーザー調査を実施した。

(5) カラーマネジメントにおいては、業界標準色再現モードについて検討を行い、Mapping色空間、sRGBフレアの扱い、紙白補正方法、管理色、GMA、ROPGを対象に技術レポート/規格策定作業を開始した。また、MT61966-7-1 (RGBプリンタの色特性把握方法) の見直しを行い、FDISを発行した。画像保存性WGにおいて、関係団体との情報交換、国内外対応委員の見直し、国際会議 (ISO TC42/WG5/TG3) への参加により、業界の意見集約と提案を行った。本報告書が、今後、標準化活動を進める上での資料としてお役に立てば幸いである。

1.8 JIS 原案作成委員会

(1) 活動概況

- ① 平成17年度に、次の8件のJIS原案を作成するために、JIS原案作成委員会を発足させて活動し、2月末に下記4) 7) 8) の3件のJIS原案を財団法人日本規格協会へ提出した。
 - 1) カラー電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印字可能枚数測定方法 (ISO/IEC 19798 Information technology—Method for the determination of colour toner cartridge yield for electrophotographic colour printers and multi-function devices that contain printer components) : 制定
 - 2) インクジェットプリンタ及びプリンタ複合機のカラーインクカートリッジ印字可能枚数測定方法 (ISO/IEC 24711 Information technology—Method for the determination of ink cartridge yield for colour inkjet printers and multi-function devices that contain printer components) : 制定
 - 3) 事務機械消耗品の印字可能枚数測定用カラーテストページ (ISO/IEC 24712 Information technology—Colour test pages for measurement of office equipment consumable yield) : 制定
 - 4) 再使用部品を含む事務機器の品質及び性能 (ISO/IEC 24700 The quality and performance of office equipment that contains reused components) : 制定
 - 5) JIS B 0139 : 複写機・複合機—図記号 (Copying machines—Graphical symbols) :

改正

- 6) JIS X 6320-11 : バイオメトリック メソッド(生体測定)を用いた個人照合
(ISO/IEC 7816-11 Identification cards- Integrated circuit cards- Part 11:
Personal verification through biometric methods) : 制定
 - 7) JIS C 6065:オーディオ, ビデオ及び類似の電子機器-安全要求(IEC 60065:2001
Audio, video and similar electronic apparatus-Safety requirements) : 改正
 - 8) JIS C 6950 情報技術機器の安全性-第 1 部 : 一般要求(IEC 60950-1:2001
Information technology equipment-Safety-Part 1:General requirements) : 制
定
- ② 次の JIS 原案が、平成 18 年度の JISC 情報技術専門委員会で審議される予定である。
JIS B 0137:間接静電複写機用語 : 改正

技料出版